



めくるくん

図書館 めくるくん通信

図書館 ☎ 69・3706



図書館へ行こう

◆英文多読コーナー

平成17年6月からある図書館の人気コーナー。新しいシリーズも順に加わり、今では約3,000冊の本があります。

★英文多読をはじめてみませんか？

英文多読とは“やさしい英文”を集中的にたくさん読むことで、英語力をつけようというものです。3原則は、

- 1) 辞書はひかない
- 2) わからないところは飛ばす
- 3) つまらなくなったらやめる

相談会や講演会も行っています。お気軽にご参加ください。

次回相談会は10月です。

★今月の特集もお楽しみに♪

8月の特集は“旅行”です。



図書館に入った本

毎月1,000冊以上の本が入ります。
一部をご紹介します♪



『アンカー』

今野 敏／著 集英社

『アキラとあきら』

池井戸 潤／著 徳間書店

『潮騒はるか』

葉室 麟／著 幻冬舎



『ねこの京都』

岩合 光昭／著 クレヴィス



『ばあば92年目の隠し味』

鈴木 登紀子／著 小学館

『1000円以下で育てるハーブ』

高浜 真理子／監修 プティック社



『ながら筋膜リリース』

のぐち 径大／著 あさ出版



『がっちりマンデー！！』

知られざる40社の儲けの秘密』

がっちりマンデー！！制作委員会／著 KADOKAWA

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時は
お気軽に職員にお尋ねください。

食べる水族館

読む



水族館



館長 小林龍二

竹島水族館
☎ 68・2059

■まちじゅう食べる水族館

市内の水産業者や飲食店、ホテル、市観光協会などのやる気のある方たちが一体となって「食べる水族館」というプロジェクトをやっている私も声をかけてもらい、やる気を出して参加しています。やる気のある方々とやる気に満ちた活動するのは楽しいしうれい。

■魚のまち蒲郡の薄れ

プロジェクトの大将は形原のヤマスイの山本さん。知っている魚を小学生に質問したら「炙りサーモン」「えんがわ」などといった蒲郡の魚以外というかこれぞまさに寿司ネタ模範解答です。

■蒲郡の魚は美味説のナゾ

三河湾を中心として漁獲され蒲郡に水揚げされる魚はとにかくおいしいらしい。私たちは普段からそれなりに食べているので当たり前になつていますが、他の地域と同じ魚を同時に食べ比

といったような答えが返ってきて、こりゃいかんわい、ということでも立ち上がったのです。山本さんが力強く立ち上がったのに水族館が座っているわけにはいかない。共感し即座に協力。

昔は蒲郡は魚を食べて当然のまちでしたが、最近では魚よりも他の食材を食べることが多い。近所から食べきれない魚をおすそ分けいただく光景なども少ない。魚はゴミも多く出る、アタシ刺身なんて作れない、魚さわれないもの。これはなんとかせねば、ということなのだ。

べると問答無用でわかる。食べ比べるまでもない、おしゃあ何を言っとるか、バカタレが、蒲郡の魚はうまいに決まってる！と昔からの漁師さんなどは圧倒的自信に満ちた口調でネジリ鉢巻を振り回しながら船から飛び降りてきて猛烈にガナリ立てる。当然のように蒲郡の魚はうまいと言うがなぜだろうか、理由があるのだろうか、と先日ヤマスイの山本さんと話をしました。いろんな人から話を聞いて集約すると、仮説ですが、なんだかすこく納得のいくような答えが秘められていました。また蒲郡に水揚げされる魚の中でも全ての魚がおいしいわけではないこともまだ推測の域ですが判明してきています。気になるその答えは、次回紹介したいと思います。